

学校教育目標

・図書資料を活用した調べ学習を推進するために、学校図書館の環境整備や図書ボランティアを有効活用するなど、読書活動を充実させる。

○心豊かでやさしい子
○よく考え表現する子
○体をきたえ元気な子

・読書科の図書資料を活用した調べ学習を、生活科や総合など、他教科の学習活動へも積極的に取り入れ、系統性をもって取り組んでいる。

学校図書館の目標

○学校図書館の環境を充実させ、学校図書館の活用を積極的に進める。小岩図書館との連携を深め、読書の楽しさを知り、利用の一層の促進を進める。
○教科・領域等で調べる学習の計画を立て、積極的に学校図書館を活用し、自ら調べ、考え、表現する子供たちを育成する。

ねらい

- ① 児童が本に親しみ、豊かな心情と幅広い知識を身に付ける。
- ② 学校図書館を活用した学習を設定し、各教科における図書館活用を推進する。
- ③ 縦割り班や図書ボランティアによる読み聞かせ活動を通して、本に親しむ児童を育成する。

指導の重点

- ① 図書ボランティア等の読み聞かせを通して、本に親しむ児童を育成し、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
- ② 年間計画に沿った活動を行い、系統性をもった読書の日常化を図る。

各学年の重点目標

第一学年	・読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館に親しんで利用できる。	第三学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・進んで図書館を利用して調べようとする。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて図書館を適切に利用する。
第二学年	・読み物を進んで読もうとする。 ・図書の扱い方や借り方など正しく利用できる。	第四学年	・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・調べ学習に意欲的に取り組む。	第六学年	・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。 ・学び方を身に付け、課題解決能力を高める。

具体的な取り組み

各教科について

○課題解決学習、調べ学習、グループ学習、個別学習の場とする。

読書科について

○「ブックトーク」「ビブリオバトル」「アニメーション」等で読書への意欲を高める。

総合的な学習の時間について

○自ら調べ、考え、表現しながら、課題解決を行う場として本と図書館を活用する。

特別活動について

○図書委員会を中心として、自発的・自治的に図書館を活用する啓発と環境整備を行う。

道徳について

○図書資料を通して、先人の生き方や考え方等に接し共感するとともに心豊かな子を育む。

家庭・地域、区立図書館職員との関係

○学校図書館の整備、新刊本購入リスト作成、書籍処理を図書館司書と連携して行う。

朝読書

6年間を見通した読書計画

小岩図書館との連携

環境づくりの強化